

昭和十一年七月



萩市内史蹟名勝案内記

萩市役所

萩市内史蹟名勝案内記

萩市は慶長九年輝元公入國以來二百六十有餘年間毛利氏累代の城下として防長一州統治の首腦地なりしが敬親公治を現在の山口市に移されて以來幾變遷を経て今日に至れり。

◎交通機関 山陽線鐵道に依る場合…厚狹驛にて美禰線に乘換へ萩に至る、▲小郡驛下車小郡駅前、自動車▲三日尻驛下車三日尻開有馬自動車▲山陰線鐵道に依る場合…下關驛より直通萩に至る▲山口線鐵道に依る場合…▲長門峡驛にて下車天下の奇勝長門峡を探勝し龍宮淵より萩市迄自動車又は高潮より扁舟により阿武川下りを爲し史蹟の萩を訪れるも亦趣味深し。

◎萩城址 指月山の麓に在り元吉見氏の別墅なりしが慶長九年輝元公之修築せられ五重の天主閣、二十餘の櫓、内濠、外濠等當時要害第一の稱ありしが版籍奉還の魁を爲す爲維新後城廓の悉くを廢毀し僅に城塞の一部を残すのみ。

◎志都波公園 城址一帯の芝生に點綴する櫻樹は特に春花爛漫の候屈指の遊園地にして東園は舊藩主の別邸跡なり。

◎志都波山神社 舊城内に在りて縣社なり。明治十二年の創建に係り毛利元公以來の志都波を祀る社殿は巖蒼たる指月山を負ひ、壯麗池塘泉石の美と相俟つて萩地有數の勝地たり。

◎菊ヶ濱 指月公園の東より鶴江に續く白砂青松の一帶なり遙かに笠山及大小の島々を眺望して其の景頗る佳なり。海水浴場として眞に理想の地なり。背後に當る砂丘一帯は維新前に於ける外敵防禦の臺場跡なり。

◎天徳院跡 堀内天下馬に在りて萩地臨濟三院の一なり寛永年間輝元公の菩提所となる爾後三慶堂上今は墳墓のみ存し永へに英魂を留めぬ。

◎明倫館跡 享保三年藩主吉元公之を堀内に創建せらる。後敬親公に至り嘉永二年此の地に改築する其の敷地一萬五千八百四十四坪に渉り規模宏壯を極めたるものなりしが維新後廢毀し就中講堂は舊山口縣會議事堂の築材なり。聖廟は曹洞宗海雲寺の本堂に遷され正門は萩別院の本門として遷し今は演武場の一棟と水練池及一基の石碑並に木主を存す現今の萩商業學校明倫小學校及萩政政判所の敷地これなり。

◎本派本願寺別院 西田町に在り眞宗の大伽藍にして元和年中現在の山口市より此の地に移せしもの其の規模雄大輪奐安福萩市第一の巨刹なり。

◎弘法寺 上原の浮島に在り大同年中弘法大師の創建になると傳ふ宗海上人朝朝の際此の島に風浪を避けたりと、境内古松多くして風致佳良又河中より鏡蓋湧出するに弘法寺遺蹟と稱して其名高し浮島辨天舊振武隊の招撫碑、前原一誠佐世一清の墓碑亦此の境内に在り。

◎南園御殿 敬親公の成人されし所に今尙其の幾部を存し其の當時を偲ばしむ現今の縣立萩高等女學校建物の一部なり。

◎大照院 櫻江に在り南禪寺派臨濟の巨刹なり明曆二年秀秋公の築城と定め爾來毛利氏累代の菩提所となる門内頗る森嚴宇壯巨なり寺後の山上には末寺嶽の觀音あり國寶赤童子を藏す眺望頗る佳なり。

◎派 松林の内大屋と千法師との間の地點を云ふ往時萩に往來する者萩と別れを惜みし所現今は松なく小碑を建て、昔を偲ぶのみ又吉田松陰先生の詠中の「歸らじと思ひ定めし旅なれば」ははるゝ涙松かな。は此の所に物せられしなり。

◎萩 地 萩城に二種あり一は高麗城と稱し整元は朝鮮人李敬を祖とし代々萩市松本に住し版高麗左衛門と稱して十世に及ぶ一は古萩と稱し天和國三輪の里源左衛門本等に云へる者來り創始せるものにして今は九世堂に至る共に風流雅致なるを以て名あり其の他泉流鏡小畑等あり。

◎南明寺 椿區の内南明寺山の山頂に在り萩市唯一の天臺寮にして大同元年の創建なり國寶觀音、千手觀音の二体及内家の明徳、永正時製の制札を藏む眺望絶佳にして萩市を一眸の裡に收め庭前に彼岸櫻あり南明寺の承徳ミ制して花時参拜者多し。

◎松陰神社 椿東區の内松本に在り維新革命の先覺者吉田松陰先生を祀る境内には先生が門弟と共に書を講じ、踏またりと云ふ來春日あり又松下村塾は先生の門弟等を教導せられたる榮合して其の當時の模を存す、又社頭の左側に松陰先生の遺物を藏めたる寶物庫あり其の他松陰先生の函を存す境内に在り。

◎花月樓 松本橋東詰に在り故用品子留の別荘なり。

◎東光寺 椿東區の内松本に在り黄葉宗の禪林にして七堂伽藍悉く備はり壯麗の名刹なりしも維新後廢毀して今は遺門、山門、佛殿、鐘樓、經堂等を殘すのみなるも能く昔日の偉觀を偲ぶに足る。本寺は大照院と共に毛利氏累代の菩提所にして吉田公及四公の墓所並に元治甲子殉難士の墓あり。

◎反對爐 椿東區の内小畑に在り毛利氏軍艦建造の際に於ける器械を鑄造し又軍刀を製作せる鑄造工場の一部なり。

市歌

一、青史輝く志都波山
地靈人傑相倚りて
尊王の意氣天を衝く
郷土大萩榮あれ

二、祖訓治し阿古の海
百万一心ゆるみなく
進展の潮地に遊る
郷土大萩榮あれ

三、遺風尊し松下塾
一路向上ひたぶるに
先賢の跡人は踐む
郷土大萩望あれ

男なら

男なら
お稽がついでお仲間となつて
ついて行きたや下の關
尊王攘夷と聞くからは
女ながらも武士の妻
まさかの時にはしめだすき
神功皇后様の三韓退治が
かびみじやないかいな
オ、シヤリ〜

◎越ヶ濱 菊ヶ濱の對岸笠山半島に連る漁浦にして南に夕風北に濠江の良港を控へ風光頗る愛すべし、其の西端に名越屋山あり形によりて笠山と稱する死火山にして頂上に噴火口を存す山中寒熱帶の植物に富み風景亦開闊爽快なり、明神池は廣袤三千五百餘坪の鹹水池にして海魚群を爲す、元藩主遊樂の地にして所々に風穴あり四時遊覽者多し越ヶ濱に至る途中に海面の一部を劃したる人工水族館あり各種の魚介を飼養し釣魚遊覽に供す。

◎萩八景 今を去る二百餘年前吉田家臣山田原政、安部春貞、雲谷等藩等に命し支那の瀟湘に似て萩城附近に於ける下記八ヶ所の勝地を選ばしむ之を八江と名つて一、倉江の歸帆(西の瀟湘の對岸なり)二、玉江の秋月(橋本川の川流なり)三、櫻江の暮雪(河添の瀟湘の對岸なり)四、小松江の晚鐘(大照院附近なり)五、上津江の晴嵐(沖原の上流なり)六、中津江の夜雨(龍藏寺附近なり)七、下津江の落雁(弘法寺の對岸なり)八、鶴江の夕照(濱崎の對岸なり)。

◎先賢名士の史蹟 ▲勤王家吉田松陰、高杉晋作、前田孫右衛門、入江九一、周布政之助、檜崎彌八郎、大和國之助、浦毅貞、寺島忠三郎、毛利登人、穴戸左馬之助、渡邊内藏太、久坂義助、久坂玄機、竹内正兵衛、國司信濃、福原元圃、全田右衛門介、清水清太郎、山田守右衛門、山田亦介、廣澤兵助、杉山松助、來原良藏、松島開藏、河上彌一郎、中村九郎、時山直八、冷泉五郎、櫻井三三三、香川半助、木戸孝允、伊藤博文、吉田稔、松浦松洞、長井雅樂、藤村稻彦、藤村稔彦、福田供平、前原一誠、奥平謙輔、宮城彦輔、金子重輔、土屋矢之助、寺内暢藏、青木周弼、青木研藏、近藤芳樹、中島治平、玉木文之進、杉民治、杉孫七郎、御堀耕助、鳥尾小彌太、掛取素彦、松本則、中村雪樵、毛利廣政、桂廣保、坂時存、村田清風、山田顯義、品川彌二郎、穴戸環、曾根荒助、野村晴、白根專一、青木周藏、桂太郎、三浦雪樵、柴田家門、山縣伊三郎、田中義一 ▲學者山田原政、小倉尚齋、山縣南、和智東鄰、瀧岡台、林東溪、津田東洋、山根華陽、小倉鹿門、繁澤豊城、山根清、小田村藍田、中村華嶽、山縣大華、平田浩庵、中村半莊、小倉通齋、飯田履軒、中村浩堂、岡本橋堂、岡田謙道、岡村箕翁、口羽通倫、▲書家 草場居敬、草場大、山縣翠嶺、高島勝齋、▲畫家 雲谷等瑛、雲谷等瑛、雲谷等瑛、雲谷等瑛、藤田傳三郎、賀田北三郎。

◎萩の史蹟 關於 史實を詳悉せるもの數種あり市内の書店にて販賣す。

◎旅館宿泊料 團體(十人以上)一等泊貳圓以上、二等同壹圓五拾錢以上。但し學生及見學團體に對しては特に割引あり。

◎自動車案内 定期乗合自動車(間斷なく運轉各列車に接續)
一、萩驛越ヶ濱線 一區五錢 參拾錢
二、玉江驛松本線 四區 一區五錢 貳拾錢
此の外四月には東田町、指月公園間に花見用、七八月には東田町菊ヶ濱間に海水浴場行臨時「バス」運轉す。

◇遊覽バス 一人一巡賃金壹圓以内團體には割引あり
六人乗一臺(三時間以内)全 六圓
三時間以上には及ぶ時は大型十八人乗一臺 全 六圓
團體に對しては割引あり

◇行程所要時間 ▲山陽本線より萩市に來るもの ▲厚狹驛より萩驛まで二時間 ▲小郡驛より自動車にて萩市まで二時間(壹圓五拾錢) ▲山陰本線にて萩市に來るもの ▲下關驛より萩驛まで三時間 ▲石見益田より萩驛まで一時三十分間 ▲山口驛萩市間省營自動車にて萩市まで二時間(壹圓四拾錢) ▲長門峡を経て萩市に來るもの ▲長門峡中龍宮淵より太關自動車にて萩市まで一時間三十分(壹圓) ▲萩場より萩市まで三十分(參拾五錢) ▲高潮より川舟にて川上村後場まで一時(一圓參圓) ▲萩場より萩市まで三十分(參拾五錢) ▲高潮より川舟にて川上村後場まで一時(一圓參圓) ▲萩場より萩市まで三十分(參拾五錢) ▲萩市にて秋芳洞まで一時三十分間(貸切七圓) ▲萩市より汽車にて美禰線吉原驛まで一時四十分間、吉原より自動車にて秋芳洞まで四十分間(八十錢) ▲萩市より汽車にて正明市驛まで五十分間(正明市驛より仙崎までガソリンカーにて四分(五錢)又は自動車にて仙崎まで十分間(拾錢)

◎備考 萩市内の史蹟を訪れる方は萩市役所又は全所觀光協會(電話七〇〇番)に其旨を申込まれたし。

山口縣萩市役所

昭和十一年七月

萩市內史蹟名勝地圖



比例尺 1:1100

山口縣萩市野浪